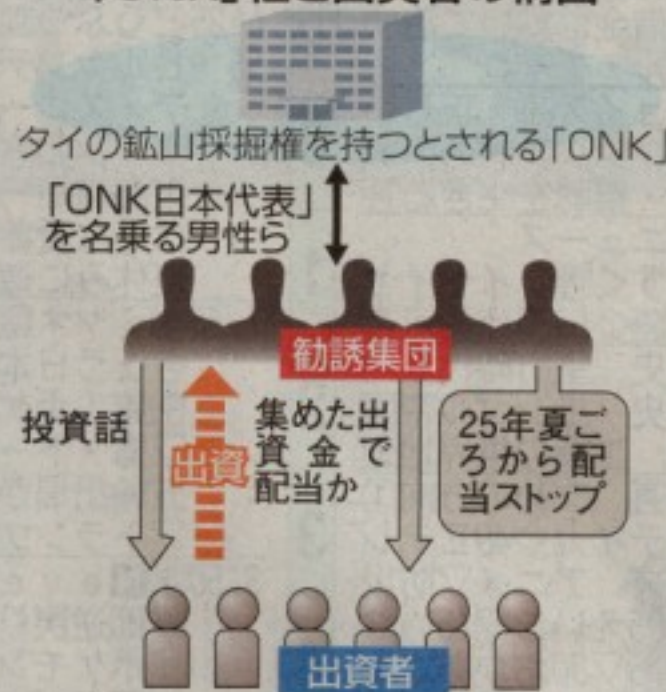


タイ鉄鉱石 投資トラブル

数百億円集金か 刑事告訴へ

タイで行われている鉄鉱石採掘事業に投資すれば高配当が得られるなどというた、主婦や会社員らから出資金を募っていた採掘関連会社「ONK」(本社・タイ)をめぐる、配当の遅滞や出資金が返還されないトラブルが全国で相次いでいることが21日、分かった。事業自体が架空だった疑いもあり、出資者らは近く、出資法違反(出資金の受け入れ制限)と詐欺罪で同社関係者を警視庁に刑事告訴する。

「ONK」社と出資者の構図



売権を所有し、欧米や東南アジアなどの各国に輸出し

ていると説明。「超一流企業の商社や製鉄会社と取引がある」とアピールし、出資者を採掘現場とされる鉱山に無料で招く視察ツアーも行っていたという。

だが、25年6月ごろから配当の支払いが滞り、出資者が出資金の返還を求める

と、「洪水被害で鉄鉱石が輸出できなくなった」「代理店の社員が出資金を横領し、現地の捜査当局に口座を凍結されたので待つてほ

しい」などと言って返金にも応じなくなったという。

関係者によると、ONK社は少なくとも8年間、財務諸表などをタイ当局に提出していなかったという。

事業の実態は出資金を配当に回す「自転車操業」だった疑いがあるが、配当が止まった25年以降も出資を募っていた。

ONK社日本代表を名乗っていた男性の代理人弁護士は、産経新聞の取材に「何らかの事情でカネを払うのをやめてしまったということなので、詐欺ということはない」としている。

出資者側の代理人弁護士は22日にホームページ「ONK被害者の会窓口」(http://www.onk-info.com)を立ち上げ、状況の把握を進める方針だ。

「王族」登場 豪華視察ツアー

ONK社が出資者を無料招待した鉄鉱石採掘現場視察ツアーでは、タイの「王族」や「僧侶」が登場し、金の指輪が配られたという。こうした「演出」は、出資者らを信用させるための舞台装置だった疑いが指摘されている。

「日本をはじめ各国の商

社メーカー 鉱山技師が視察に訪れる」「エライン月産4万8千ト」。同社が制作したPRビデオには、鉄鉱石を採掘するショベルカーや選鉱プラントとみられる施設が映っていた。

家族で9600万円を出資し、平成25年1月に視察ツアーに参加した東京都

の50代の主婦は「工場のオープンを祝うイベントにはタイの王族や僧侶、警察や軍の関係者という人もいた。そこまで見せられたら信用してしまう」と振り返る。

2500万円を出資したという40代の会社社員の男性も、「イベントのために

タイの王族をチャーター機でバンコクから連れてきたと聞いた。工場の一角には立派なゲストルームもあった。驚いた」と話す。参加者には22金の指輪が配られた。

一方、本日に採掘が進んでいるのか不安を覚えた出資者もいた。「広い鉱山で

動いていたのはショベルカー2台とベルトコンベヤー12、3台だけだった」「(40代男性会社社員)ためだ。

視察ツアーから半年後、配当は突然止まった。出資金の返還を求める出資者に対し、ONK社日本代表を名乗る男性は「タイの情勢が悪い」「洪水があって鉄鉱石を輸出できなくなった」などと理由を並べて返還に応じず、「弁護士先生

出資者をタイに招いて開かれた現地説明会(出資者提供、一部画像を加工しています)



タイ東北部ルーイ県にある鉄鉱石のプラント (ONK社のPRビデオから)

出資者が被害にあった主な事件	立件された年	会社名	内容
	平成14年	全国八葉物流	破綻状態で「健康食品の委託販売で、1年後に倍になる」などと会員から出資金を募る。警視庁などが元幹部らを逮捕
	20年	ワールドオーシャンファーム	実体のないエビ養殖事業で出資を募る。警視庁などが元会長らを逮捕
	21年	エル・アンド・ジー	高配当をうたい出資金を募集。疑似通貨「円天」発行で会員を増やしたが、のちに破綻。警視庁などが元会長らを逮捕
	21年	近未来通信	IP電話の中継局オーナーを募集する手口で出資金を募るが、配当のほとんどは新規加入者の出資金だった。警視庁が元役員らを逮捕
	25年	安愚楽牧場	「和牛オーナー制度」を展開。約7万人から約4200億円を集めたが、のちに破綻。警視庁が旧経営陣を逮捕

繰り返される出資金トラブル

出資金の返還をめぐるトラブルはこれまでもさまざまな事業で起きており、刑事事件に発展するケースも少なくない。

繁殖牛に出資して牧場に飼育を委託し、契約期間満了で出資金の返還を受けるとする「和牛オーナー制度」を展開した「安愚楽牧場」は、約7万人から約4200億円を集めたとされるが、平成23年に経営破綻。元社長は虚偽の説明で出資者を勧誘したとして、特定商品預託法違反(不実の告知)容疑で逮捕された。

出資を募っていたエビ養殖事業に実体なかったことが判明したのは、投資会社「ワールドオーシャンファーム(WOF)」の詐欺事件。疑似通貨「円天」を使った健康寝具販売会社「エル・アンド・ジー(L&G)」の巨額詐欺事件では、元幹部らが逮捕されたほか、被害者らが元役員や勧誘に携わった会員に対し損害賠償を求めて集団提訴し、勝訴している。

「ONKの代理人」を名乗っていたこともある同社側の弁護士は産経新聞の取材に「タイの王族の血を引いているONKの代表者から返事が来ない」と釈明。ファンド事業については「機関投資家から資金調達し、うまくいきそうな雰囲気もある」とした。

ただ、出資者らが刑事告訴の動きを示していることには「詐欺の実態がないので立件は無理だ」と思う。せっかくお金をつくり出したのに、駄目になるのはもったいない」などと話した。